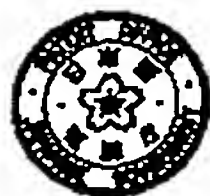


(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **54028744 A**

(43) Date of publication of application: **03.03.79**

(51) Int. Cl

B23K 31/00

(21) Application number: **52094409**

(22) Date of filing: **06.08.77**

(71) Applicant: **HITACHI Zosen CORP**

(72) Inventor: **MINEHISA SETSUJI
NAGAI AKIRA
GO HIZO
MAEHARA KENJI**

(54) **PROCESS FOR JOINING ALUMINUM, ALUMINUM
ALLOY AND STEEL**

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide the subject process comprising the steps of: forming on a base material a sprayed film

of a metal of other base material, and thereafter forming a weld joint, thereby joining easily and firmly a base material such as aluminum or the like which is impossible to be weld bonded, with a steel base material.

COPYRIGHT: (C)1979,JPO&Japio

溶接接合が不可能な両母材を、溶射皮膜による親和性により、容易に強固に接合することができ、従来のような劣化、溶接割れを生じなく、この発明は優秀な接合法を提供するものである。

4、図面の簡単な説明

第1図ないし第6図は、この発明の接合法の各実施例の断面図である。

(1) … 鋼母材、(2) … 溶射皮膜、(3) … アルミニウム母材、(4) … アルミニウム合金溶接ビード、(5) … 溶融アルミニウムのメッキ皮膜、(6) … 下地処理材、(7) … 肉盛。

代理人 弁理士 藤 田 龍 太 郎

図 1

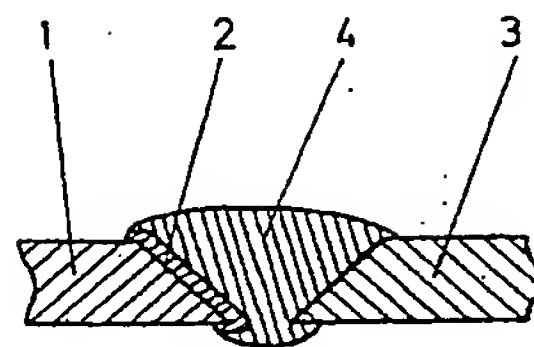


図 2

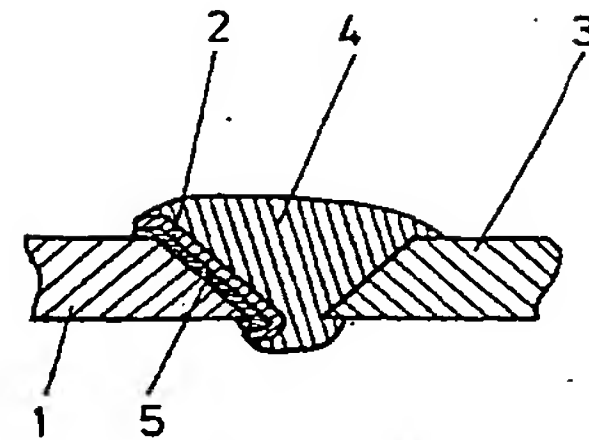


図 3

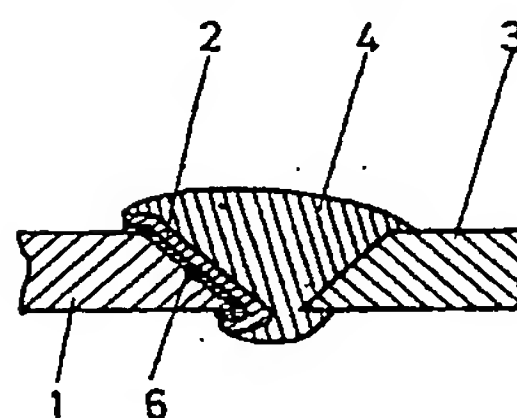


図 4

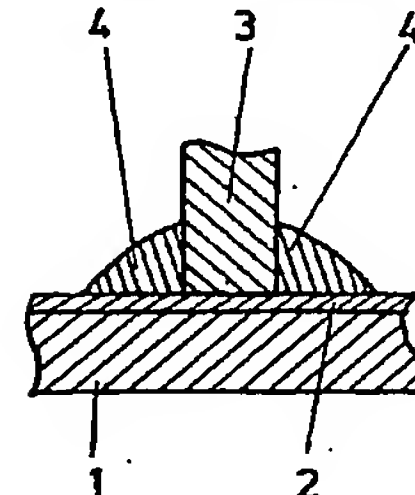


図 5

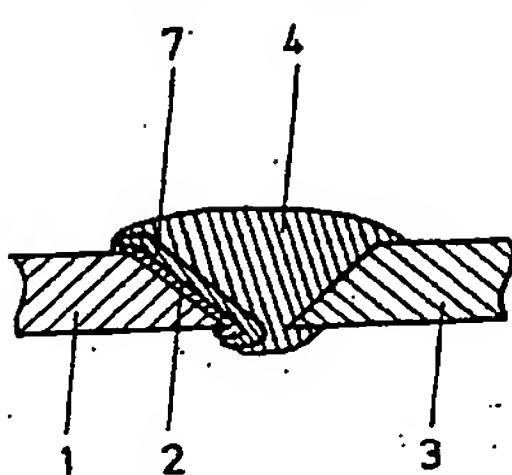
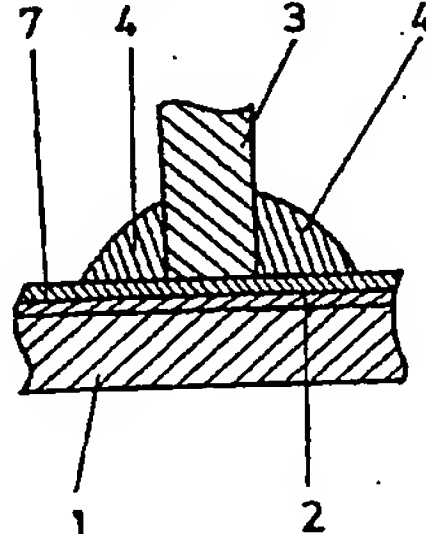


図 6



手続補正書 (方式)

昭和52年11月7日

特許庁長官殿

1 事件の表示

昭和52年特許願第94409号

2 発明の名称

アルミニウムおよびアルミニウム合金と鋼との接合法

3 補正をする者

事件との関係

特許出願人

住 所 大阪市西区江戸堀1丁目6番14号

名 称 (511) 日立造船株式会社

代表者 永 田 敬

4 代理人

〒530

住 所 大阪市北区此花町2丁目20番地
千代田ビル東館

氏 名 (6151) 弁理士 藤田龍太郎

電話 大阪(06)351-8733

5 補正命令の日付 昭和52年10月1日

6 補正の対象 明細書の「発明の名称」の欄

7 補正の内容 明細書第1頁第3行の「アルミニウム」を「アルミニウム」に補正。